



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月30日

上場会社名 株式会社 エージーピー
 コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日岡 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 鈴木 悦朗

TEL 03-3747-1631

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,463	7.0	805	3.9	830	7.7	567	30.0
2019年3月期第3四半期	9,780	5.6	775	14.0	771	13.7	436	24.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 567百万円 (0.8%) 2019年3月期第3四半期 572百万円 (8.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	40.68	
2019年3月期第3四半期	31.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,685	9,495	69.4
2019年3月期	13,675	9,123	66.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,495百万円 2019年3月期 9,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		9.00	14.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	7.1	1,300	4.2	1,250	7.6	770	12.3	55.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	13,950,000 株	2019年3月期	13,950,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,062 株	2019年3月期	2,062 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	13,947,938 株	2019年3月期3Q	13,947,941 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策等により雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しました。

一方で消費税引き上げ後の消費マインドの動向や、海外経済の不確実性、通商問題の影響等、依然として不透明な状況が続いております。

航空業界では、日韓情勢の影響により10月から12月にかけての訪日旅客は3か月連続前年同月比で減少しているものの、2019年の年間においては過去最高を記録しており、国際線の路線開設・増便が進み、需要は堅調に推移しております。

このような状況下における当社業績は、主力事業である動力事業及び整備事業を柱に堅調に推移しており、売上高合計は104億63百万円と前年同期比6億82百万円(7.0%)の増収となりました。

営業費用につきましては、増収に伴う材料費及び外注費の増加に加え、適正な人員配置を押し進めていることによる労務費の増加により、96億57百万円と前年同期比6億52百万円(7.2%)の増加となりました。

以上により、営業利益は8億5百万円と前年同期比30百万円(3.9%)の増益、経常利益は8億30百万円と前年同期比59百万円(7.7%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に繰延税金資産の取り崩しに伴い法人税等調整額が増加していた反動もあり、5億67百万円と前年同期比1億31百万円(30.0%)の増益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 動力事業

航空需要拡大と中部空港での事業開始に加え、設備使用時間の増加や、A380就航増等により、売上高は44億73百万円と前年同期比3億49百万円(8.5%)の増収となりました。

セグメント利益は、増収による原材料費の増加や、中部空港での設備賃借料が増加したものの、10億42百万円と前年同期比1億90百万円(22.4%)の増益となりました。

② 整備事業

関西空港において旅客手荷物搬送設備の更新工事に係わる別途契約業務の受注減や、中部空港において動力事業を展開したことに伴い、動力設備保守契約が減少した一方で、成田空港及び羽田空港において施設設備の大型別途契約工事の受注等があったことにより、売上高は41億78百万円と前年同期比97百万円(2.4%)の増収となりました。

セグメント利益は、原材料費や労務費の増加により、4億97百万円と前年同期比37百万円(7.0%)の減益となりました。

③ 付帯事業

フードコート販売の減少や、植物工場が台風による停電で減収になった一方で、中部空港向けパッセンジャーボーディンググループ(PBR)の販売や、大阪でのG20開催時にウォークスルー型危険物検査装置の販売及びレンタルを行ったこと等により、売上高は18億11百万円と前年同期比2億35百万円(15.0%)の増収となりました。

セグメント利益は、原材料費や労務費の増加等に加え、植物工場の台風被害により、17百万円の損失と前年同期比66百万円の減益となりました。

	売上高			セグメント利益又は損失(△)		
	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前年同期比 (%)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前年同期比 (%)
動力事業	4,124	4,473	108.5	851	1,042	122.4
整備事業	4,080	4,178	102.4	535	497	93.0
付帯事業	1,575	1,811	115.0	48	△17	—
合計	9,780	10,463	107.0	1,435	1,522	106.0
全社費用*				660	716	108.5
営業利益				775	805	103.9

*全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度(以下「前期」という)末比2億27百万円(3.2%)減少の67億75百万円となりました。これは、受取手形及び営業未収入金が3億98百万円減少し、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が1億16百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比2億37百万円(3.6%)増加の69億9百万円となりました。これは、主に有形固定資産が2億63百万円増加し、投資その他の資産が31百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は前期末比9百万円(0.1%)増加の136億85百万円となりました。

(負債)

流動負債・固定負債は、前期末比3億62百万円(8.0%)減少の41億90百万円となりました。これは、未払法人税等が1億23百万円、流動負債・固定負債を合算した借入金が1億83百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前期末比3億72百万円(4.1%)増加の94億95百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益、期末配当及び中間配当を加減算した結果、利益剰余金が3億72百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期におきましては、売上、利益ともに概ね計画通りに推移しておりますので、2019年5月13日に発表しました通期業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,424,772	3,251,239
受取手形及び営業未収入金	2,462,021	2,063,139
電子記録債権	—	765
商品及び製品	91,088	98,685
仕掛品	55,946	248,163
原材料及び貯蔵品	753,034	669,232
前払費用	173,741	182,979
その他	42,309	261,174
貸倒引当金	△89	△76
流動資産合計	7,002,824	6,775,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,794,877	11,100,802
減価償却累計額	△8,764,714	△8,937,178
建物及び構築物（純額）	2,030,163	2,163,624
機械装置及び運搬具	10,196,763	10,422,177
減価償却累計額	△7,610,661	△7,725,363
機械装置及び運搬具（純額）	2,586,101	2,696,814
土地	110,608	110,608
リース資産	94,096	45,399
減価償却累計額	△79,829	△42,607
リース資産（純額）	14,267	2,791
建設仮勘定	247,696	278,451
その他	575,261	591,563
減価償却累計額	△510,442	△526,551
その他（純額）	64,818	65,011
有形固定資産合計	5,053,655	5,317,302
無形固定資産		
特許権	6,068	5,204
ソフトウェア	58,673	53,841
ソフトウェア仮勘定	14,050	24,363
その他	10,937	10,744
無形固定資産合計	89,729	94,153
投資その他の資産		
投資有価証券	283,548	274,330
繰延税金資産	793,625	764,106
敷金及び保証金	197,163	198,722
長期前払費用	20,063	15,755
退職給付に係る資産	232,858	243,324
その他	2,145	2,145
投資その他の資産合計	1,529,404	1,498,385
固定資産合計	6,672,789	6,909,841
資産合計	13,675,614	13,685,145

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	792,309	554,585
1年内返済予定の長期借入金	250,364	136,364
リース債務	12,926	1,957
未払法人税等	191,673	68,194
未払消費税等	64,419	62,312
未払金	158,971	128,777
未払費用	611,254	517,124
その他	44,730	331,423
流動負債合計	2,126,648	1,800,739
固定負債		
長期借入金	292,390	222,708
リース債務	2,655	1,124
製品保証引当金	6,697	5,146
退職給付に係る負債	2,046,297	2,082,703
資産除去債務	77,763	77,453
その他	152	152
固定負債合計	2,425,957	2,389,287
負債合計	4,552,605	4,190,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	6,985,096	7,357,250
自己株式	△773	△773
株主資本合計	9,137,772	9,509,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,283	43,046
為替換算調整勘定	755	2,900
退職給付に係る調整累計額	△73,803	△60,755
その他の包括利益累計額合計	△14,764	△14,808
純資産合計	9,123,008	9,495,118
負債純資産合計	13,675,614	13,685,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	9,780,786	10,463,230
売上原価	8,260,352	8,750,095
売上総利益	1,520,434	1,713,134
販売費及び一般管理費	744,863	907,192
営業利益	775,570	805,942
営業外収益		
受取利息	16	16
受取配当金	5,335	5,530
保険配当金	882	489
保険事務手数料	741	729
持分法による投資利益	—	12,743
受取補償金	1,508	3,700
その他	3,273	6,818
営業外収益合計	11,758	30,028
営業外費用		
支払利息	5,624	2,380
持分法による投資損失	5,828	—
障害者雇用納付金	1,080	1,080
その他	3,695	1,923
営業外費用合計	16,228	5,383
経常利益	771,100	830,586
特別利益		
固定資産売却益	—	0
債務免除益	135,598	—
特別利益合計	135,598	0
特別損失		
固定資産除却損	22,819	11,804
災害による損失	11,602	—
その他	1,969	—
特別損失合計	36,392	11,804
税金等調整前四半期純利益	870,306	818,783
法人税、住民税及び事業税	182,628	220,874
法人税等調整額	117,502	30,483
法人税等合計	300,130	251,358
四半期純利益	570,175	567,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	133,803	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	436,371	567,424

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	570,175	567,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,113	△15,237
為替換算調整勘定	△600	2,144
退職給付に係る調整額	13,706	13,048
その他の包括利益合計	1,993	△44
四半期包括利益	572,168	567,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438,365	567,380
非支配株主に係る四半期包括利益	133,803	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	4,124,318	4,080,852	1,575,614	9,780,786
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,604	370	134,173	156,148
計	4,145,923	4,081,223	1,709,788	9,936,935
セグメント利益	851,868	535,387	48,318	1,435,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,435,574
全社費用(注)	△660,004
四半期連結損益計算書の営業利益	775,570

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	4,473,361	4,178,330	1,811,537	10,463,230
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,062	134	152,343	153,541
計	4,474,424	4,178,465	1,963,881	10,616,771
セグメント利益又は損失(△)	1,042,301	497,985	△17,933	1,522,353

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,522,353
全社費用(注)	△716,410
四半期連結損益計算書の営業利益	805,942

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。